

この春 おすすめの 一冊



「ぎっと見つかる！君の一冊」
今回は図書室からこの春ぜひ読んでほしい
たいおすすめの一冊をピックアップして
もらいました。読書は良い気分転換になり、
また想像力や読解力が身に付くというメリットなど
もあります。
さまざまなジャンルの本を紹介しますので
気になった本があればぜひ読んでみて下さい！



『きみの友だち』

作：重松清

小学生の時の不幸な事故がもとで足が不自由になった恵美と、そのまわりにいる人たちが各話の主人公となる連作短編集。通底するテーマは「友だちって何だろう？」「本当の友だちとは？」



『かがみの孤城』

作：辻村深月

巧妙に張られた伏線が一つの点へ向かうミステリーのような謎解き要素も含みハラハラドキドキしながら、驚愕のラストへ。読み手も7人の子どもたちと一緒に痛みを分かち合い共鳴し合える、感動の物語となっています。



『獣の奏者』

作：上橋菜穂子

あまりに感情移入しすぎて、全巻読破後はしばし呆然としてしまう読者も続出！ぜひとも中学生のうちに一度は読んでほしい名作中の名作です。



『図書館戦争』

作：有川浩

読み手を選ばないエンターテインメント小説です。シリーズ化され全6冊（外伝含む）刊行されていますので、一気に読破しちゃいましょう。原作も映画も秀逸な出来なので、ぜひ両方もチェックを！



『容疑者Xの献身』

作：東野圭吾

「中学生には難しいのでは？」と思うかもしれませんが、東野圭吾作品はどれも分かりやすい文章で書かれているので、じっくり読み進めれば中学生でも難なく読める本です。いったいどういうトリックを使ったのか？一刻も早く結末が知りたくて、途中で読むのを止められなくなるはず。まさに読書の楽しみを実感できる本です。



『ソードアートオンライン』

作：川原礫

すでにこの作品を知っている中学生も多いと思いますが、とくにゲーム好きの男子にはオススメ！アニメやゲームを先に知っていれば、より早く小説の世界にも入っていただけますし、文字から受けるインスピレーションや自分の脳内だけで場面を再生するのは、メディアを楽しむとはまた違う、読書ならではの楽しみです。これをきっかけに、いろいろな本を読むようになるかもしれません！



『ぼくらの七日間戦争』

作：宗田理

難しい分析はさておいて、ストーリーの面白さはお墨付きです！文体も平易で小学生でも読めるので、読書に苦手意識を持っている子にもオススメ。兄弟同士で共有したり、親子で読むなど家族みんなで楽しめること請け合いです。

本を読むと、 こんなすごいことが…

- 読解力&文章力がアップ！
- 想像力をはぐくむ
- 会話のネタが増える
- ストレス発散になる



今回は中学生におすすめの本をほんの一部ですがご紹介させて頂きました。この中に、少しでも興味を持って本があったら嬉しいです。読書のコツは自分が見つめていきます。先生や親がすすめる本よりもまず自分の感覚を大切にしたい方が良いでしょう。うちの子どもは保護者の方は、「うちの子どもはゲームばかりで本なんか全然読まない！」などと言わないで長い目で見てあげてください。どんな本でも何かしらのきっかけで読書の面白さに目覚めるかも知れません。なので、子どもがゲームのノベルズ版や映画の原作など興味を持ちやすいジャンルから読書に入ることも歓迎してあげてくださいね。読書は生涯を通じてどんな時にも楽しめる素敵な趣味だと思います。中学生のみならずにも読書の楽しみを知ってもらい、これからいろいろな本にチャレンジしていただきたいと思います。